

# シネマズライフ

2018年7月20日発行 第147号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはお見事!】

『詩季織々』

中国アニメの短編集。詩情的で美しい題名。

【最近のこれはまずいぞ!】

『マイナス21℃』タイトルは『マイナス21℃』だが、ネット画像の他の文字の方が大きい。どちらが題名なんだかわからん。

## 映画の風景 日本の風景

※ 姫路城 お菊井戸 ※



一 姫路城の本丸下の「お菊井戸」

不思議な力を持つてしまった貞子の悲しみと息子を救おうとする玲子が重なり、単なるホラーでない物語になっているのがこの映画の魅力だろう。

姫路城ではお家騒動に巻き込まれて殺されたお菊由來の井戸がある。思ひを貰う声が聞こえたり、夜な夜な血から始まる(恨み)って怖い...

二人は内容から調査を開始、そこで三原山の噴火を予言した超能力者・山村志津子が関わっていた事を知る。そんな中、死んだ智子に導かれ息子の陽一が、**『呪いのビデオ』**を見てしまう...

山竜司に相談。高山は玲子の息子。陽一の父親で大学講師で不思議な力を持つていた。ビデオを見た高山も不穏さを感じる。

驚いた玲子は、別れた夫・高山竜司に相談。高山は玲子の息子。陽一の父親で大学講師で不思議な力を持つていた。ビデオを見た高山も不穏さを感じる。

『呪いのビデオ』を見てしまう...

テレビ局のディレクターであるシングルマザー・漢川玲子は「一度見たら、必ず死ぬ」という**『呪いのビデオ』**の噂を聞き取材を始める。最初は信じられなかったが、奇妙な死に方を信じた玲子。友人と旅行に行き**『呪いのビデオ』**を見た玲子ではないかと気づく。智子と一緒に死んだ友人達が智子と同じ日・同じ時間に死んでおり、それも智子と同じ死に方だったのだ。

真相を知りたい玲子は、智子が泊まった伊豆の貸し別荘に赴く。そのコテージはごく普通、そこで気になるビデオを見る。そこには不思議な映像が映っており、玲子は何故か戦慄を覚える。このビデオが**『呪いのビデオ』**だという事に気づく。

『暗い空』(鏡の女性と女の子)、『乱れた新聞記事』(善)、『人々』(男)...

『リング』1998年 日本 監督：中田秀夫 原作：鈴木光司 出演：松嶋菜々子 真田広之 中谷美紀 沼田曜一 種子 竹内結子 佐藤仁美 松重豊

一大ブームを起こした『リングシリーズ』の第一弾でアメリカでもリメイク作品が作られたが、いずれもこの作品ほどの不気味さと怖さはない。



↑ 木星に残るシューメーカー・レビー彗星衝突痕

そんな中、最近木星の衛星が12個発見された。これで、木星の衛星は合計が79個になり、太陽系で最も多くの衛星を持つている事になる。その中の1個は木星の自転方向と反対に回っているが、その周辺の衛星は木星と同じ自転方向で回っており、いつか今回の発見された衛星とぶつかるだろうと予測されている。このぶつかる時期を予測し観測できたなら、以前の**『シューメーカー・レビー第9彗星の20個以上』**

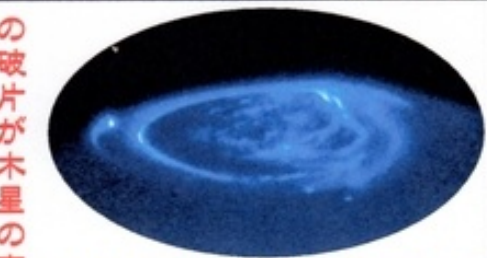
コラム  
**星も様々、人も様々**  
だと思おう件

ここしばらく、地球は猛暑に襲われ、日本ではえらい事になっている。それより直前の日本は、広い範囲で豪雨に襲われ「いつ止むのかい?」と空を見上げながらつぶやいていたら、この晴天続きなのだからまったく天の神は何を考えてるのかわからない。

そんな事を思ってしまう今日この頃なのだ。

不安定な天候が続く地球に住む人間も長い歴史の中、多くの争いが起きている。やはり、これも**『宇宙の法則』**通り、同じ行動をする人間が少なからぬのだろうか?

**『星も様々、人も様々』**



↑ 木星のオーロラ。三つの点は三つの衛星と繋がる量子化磁束(フラクソン)がつくるオーロラであり、左側がイオ、下部のふたつがガニメデとエウロパによってもたらされたものである。ほとんどの明るい楕円は「メインオーバル」と呼ばれ、その他にもほのかなオーロラの光も見られる。

☆【最近のこれはお見事!】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ!】は「これは、まずいぞ!」と思う題名を紹介しています。

Wikipediaを参考にさせていただきました。m.k.m

# on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

## 『悪神』

WOWOW

2007年 日本

監督 脚本:降旗康男

脚本:小久保利己 土屋保文

原作:浅田次郎 撮影:木村大作

出演:妻夫木聡 夏木マリ 佐々木蔵之介 鈴木砂羽 森迫永依  
笛木優子 佐藤隆太 赤井英和 上田耕一 鈴木ヒロミツ 徳井優  
大石吾朗 石橋蓮司 香川照之 西田敏行 江口洋介

7月22日(日) 10:30

8月10日(金) 8:40

【シネマ】

【シネマ】

江戸幕府末期。別所彦四郎は由緒正しい家柄。しかし、婿養子に入るも離縁され、兄・左兵衛の家に居候するも邪険にされる始末。そこで、「運気」が上がるという評判の向島の三開(みめぐり)稲荷に祈るようにソバ屋に勧められる。その帰り道。酔った勢いでたまたま土手で見つけた三巡(みめぐり)稲荷が三開稲荷の分社だと思ひ三巡稲荷に祈ってしまう。ところが、その社(やしる)は、三開稲荷とは何の関係もなく、むしろ、貧乏神・疫病神・死神という《神》を呼び寄せる社だったのだ。しかし、取り消そうにも後の祭り。貧乏神・疫病神と次々とやってくるが…。

焦っているクセに呑気な風情(ふぜい)の彦四郎を妻夫木聡が演じ、次々とやって来る貧乏神の西田敏行・疫病神の赤井英和が面白く、死神の森迫永依が実にかわいく怖い。

## 『何がジェーンに起ったか?』

スターチャンネル

1962年 アメリカ

監督:ロバート・アルドリッチ

原作:ルーカス・ヘラー

出演:ベティ・デイヴィス ジョン・クロフォード  
ヴィクター・ブオノ アンナ・リー メイディー・ノーマン  
パート・フリード ウェズリー・アディ ロバート・コーンスウエイ

7月27日(金)8:00

【チャンネル2】

名子役《ベイビー・ジェーン》として名を馳せたジェーンは、幼い頃から周囲の人間から特別扱いを受け姉のブランチは地味な存在だった。しかし時が経ち、映画女優としてブランチは大スターとして有名になり、逆にジェーンは素行も悪く人気も無くなっていった。そんな頃自動車事故が起こりブランチは歩けなくなり、そんなブランチをジェーンが面倒をみるようになっていった。その上、事故はブランチの人気を嫉妬したジェーンが起こしたと噂が立ち、二人は家に引きこもるようになっていった。そんな二人がうまくいく訳もなく、段々とジェーンのブランチへの扱いが、意地悪くなっていき、ブランチはジェーンが精神がおかしくなっている事に気づく…。主演の姉妹を当時ライバル同士で不仲だったと噂のベティ・デイヴィスとジョン・クロフォードが演じた。不仲だった二人の共演を周囲の人々はなりゆきを見守ったが、この映画の共演で二人の仲はますます悪くなったそうなのが、A。

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認をお願いします。

☆読んで頂いてありがとうございます。よろしくお聞きください。感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします！

☆次回発行は8月17日です。今月の発行予定は第2金曜日のみです。

## 『羅生門』

1950年 日本  
監督 脚本:黒澤明 脚本:橋本忍  
原作:芥川龍之介

出演:三船敏郎 京マチ子 島田之 志村喬  
千秋実 上田吉二郎 本間文子 加東大介

長い争いの為、荒れ果てた京の都・羅生門。豪雨の中、ある事件を目撃した旅法師と木こりが首をかしげていた。そこに、雨宿りにきた男が事の次第を問いかける…。ある日、木こりはいつものように、山に入ると一人の武士の死体を見つけ、検非違使に届け出た。三日後、呼び出された木こりは自分の体験を語り、旅法師の武士と妻に会ったという旅法師も証言した。そこに、なんと武士を殺したという盗賊・多襄丸が連行されてきた。多襄丸が言うには、多事件の日、街道を馬に乗せて歩くと妻を見かけ、その顔を垣間見、その美しい顔に魅かれ、妻を犯してしまったという。



今の日本はSNSが出現してからお互いの《言い分》を聞かず、自分の主張だけを連呼して「議論」もしない事が多すぎる。その上、一部の主張を連呼する人は事実だと思っていないかもしれないからますますたちが悪い。人間の本性とはいえめんどくさい時代になったと思う。

次に見れた妻は、犯された自分を侮蔑する夫の目に耐え切れず思わず刺殺してしまっただという。次は巫女に憑依した夫で、真実は多襄丸に犯された妻は「妻になれ」とかき口説く多襄丸に「夫を殺して」と叫んだという…。さて、真実はどこにあるのか…?

芥川龍之介の短編小説『羅生門』をベースにした傑作。結局、3人をいっしょに詰めても自分の主張は絶対曲げないのだから。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

**シネマズライフ147号**  
発行人: 貴樹諒音  
発行日: 2018年7月20日  
cinemaz-life@movie.nifty.jp  
告知ブログ  
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



せめて写真だけでも笑って…

【編集後記】  
☆6月18日の地震が原因でもないのだが、一写休んでしまいました。失礼しました。  
しかしこの1か月、地震から豪雨。それが終わったらと思うほど酷おかしな天気。うらやま暑付きすぎる。まだこの夏は地球規模の異常気象はそうでもない。7月か8月でも、年末まで何かあっても来るかもしれない。でもお気をつけ下さい。

シネマズライフーcinemaz-lifeー 1 4 7号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】  
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》  
『何がジェーンに起きたか？』  
《WOWOW》  
『憑神』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。  
ぜひ、ご覧くださいませ。

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/>

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&  
お世話になっているインターネットTV  
**netchannel KYO**

**『オススメ犬映画』**

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

**[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)**

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト